

カードのメリットとデメリットは表裏一体

社会に出ると、駅やスーパー、ショッピングモールなどで、クレジットカード（以下、カードと記載）加入の勧誘をされる機会も増えてきます。主に買い物に使うものですが、主なメリット・デメリットを知っておきましょう。

	メリット	デメリット
通常のカード利用（ショッピング利用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆現金がなくても買える</li> <li>☆海外やネットでの買い物利用に便利</li> <li>☆悪用されても利用停止でき、お金は損をしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★買い物をしすぎてしまいがち</li> <li>★ポイント目当てに余計に買い物をしてしまう</li> <li>★個人情報漏洩の危険あり</li> </ul>
分割（リボ）払いの場合、上記に加えての変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆高いものも、毎月の支払は少額で買える</li> <li>☆ポイントが多めにもらえることが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★返済のとき金利（買ったものより多く支払うお金）が必要になる</li> <li>★返済総額が分かりにくい</li> </ul>

なお、カードを持つには、年会費がかかることがほとんどです。また、お店によってはカード払いをした場合、現金で支払ったときに比べて支払額が高くなる、もらえるポイントが減るとい、客に不利益なことがあります。これは、カード払いをすると、お店が一部をカード会社に手数料として納める仕組みのため、お店の利益が減るためです。

金利ってどれくらい？

金利18%という条件のカードで、10万円のものを1か月5,000円ずつリボ払いする場合、何と2万円近く余計に金利というお金を払わないといけません。返すのが長期になると、さらに金利の額は多くなります。銀行や金融機関は、

この金利があるからポイントをリボ払い利用者に多めに付与できるのです。

昔からあった多重債務問題

お金を返すのが難しくなってくると、家族にも内緒で、別の金融機関から借りて返そうとする人も多いのです。しかし最終的に返せなくなって、中には自死や夜逃げをする人も出て、社会問題となりました。

どうしたら避けられるの？

- ① まずは必要以上の買い物を控えるように心がけましょう。
- ② しかしどうしても、急なお金が必要なときもあります。リボ払いやキャッシングは、毎月の返す金額や、全部でいくら払うのかを最初に調べ、短期間で返すようにしましょう。
- ③ それでも返すのが苦しくなってきた場合、自力で何とかしようと考えず、専門家である弁護士、司法書士などに早めに相談するなどしましょう。状況を見直すことで、結果的に手間や負担が軽く済む場合が多いのです。カードは簡単に使えて便利な反面、義務や責任が伴うことを忘れないようにしましょう。

◆消費者教育高校生講座◆

千葉司法書士会では、毎年県下の高校に講師を派遣し、標記事業を行っております。

司法書士としての実務経験を生かして、契約の基礎や、悪質商法への対処法、多重債務問題等について講義をし、これから社会に出る生徒の皆さんに法的なものの考え方を学んで頂くことを目的としております。

活動実績

平成24年度：18校で開催	平成27年度：19校で開催
平成25年度：12校で開催	平成28年度：13校で開催
平成26年度：12校で開催	平成29年度：19校で開催

お問い合わせ先：千葉司法書士会事務局 043-246-2666

